

## ドイツの統合コースの変遷と今後

### —導入からコンセプト改訂に至る 10 年の経緯と「シティズンシップ」の関連についての考察—

The Transition and Prospect of Integration Courses in Germany:

Tracking the Evolution for the Past 10 years from Introduce to the Revised Version of Concept and its Relation to “Citizenship”

佐野 敦子 (社会デザイン学会 理事)

Atsuko SANO(Director, Japan Society of Social Design Studies)

キーワード：ドイツ 統合コース シティズンシップ 非識字者 女性 デュッセルドルフ 教育

#### 1. 報告の目的

本発表は、2005 年からドイツで実施されている統合コースについて、2015 年前半にコースの改訂コンセプトが公開されるまでの軌跡を追い、現在に至るまでの経緯と今後の展望についてまとめる。その際に、報告者がここ数年行ってきたデュッセルドルフ市における統合コースの調査や、導入から現在までの社会変動についても考察を加え、報告する。とくに本発表では、これまで多くの先行研究がある語学学習時間 600 時間の「一般の統合コース」(Allgemeine Integrationskurs、以下、一般コースと称す)だけでなく、900 時間の語学学習時間が設定された特別タイプのコース(以下、特別コースと称す)についても触れ、現在の統合コースの全体像を提示する。

なお、特別コースは女性や非識字者など目標グループに応じて開講しているが、報告者がみた限りでは難民出身者が多い。そのため、この特別コースの成否が、難民が押し寄せるドイツで展開される「統合」(Integration) 政策の今後を左右すると予測し、このコースのカリキュラムやコンセプトの変化にとくに注目し、分析を進める。

#### 2. 問題の所在

ドイツで展開する統合コースは、2005 年の移民法改訂を機に導入された。しかし、このコースは現在にいたるまで、コンセプトが三回も改訂・発表されている。そこで本発表では、2015 年に発表された最新の改訂版コンセプトにもとづき、現在のコースの制度や受講対象者・各カリキュラムの特徴について紹介しつつ、過去のコンセプトと比較し、そこに至るまでの経緯をふりかえる。とくにあまり取り上げられる機会がない女性や非識字者といった目標グループを対象とした特別コースの変遷にも留意し、より広い視点から、統合コースの全体像を示し、抱える課題を明確にする。

上記のとおり、本発表の特徴は過去のコンセプトとの比較、そして特別コースへの注視にある。なぜ、コンセプトの変化に注目するのか。それは、統合コースがドイツの移民のステータス、いうなれば「シティズンシップ」を決定するにあたり、大きな役割を担うからである。統合コースは新規入国者を中心にドイツ語が不得手な移民に義務付けられる学習コースである。ここではドイツ語だけではなく、ドイツ社会で暮らす基本知識も同時に身に着けることを学習目標としている。そして、コース修了試験の合格に、ドイツでの居住権がかかっており、さらにその出題内容はドイツに帰化するにあたって受けなければならない「帰化テスト」(Einbürgerungstest) の内容とも重なる。つまり、移民にとって統合コースは、ドイツでの「シティズンシップ」獲得の関門といえ、その変遷は、ドイツの「シティズンシップ」を得る基準がいかに変化しているかを如実に反映していることになるのである。本発表のもうひとつの特徴は特別コースも含めて、統合コースを概観する点である。その理由は3つある。ひとつは特別コースの受講者は統合コース全体のおよそ 20%と決して少ない割合ではないこと、次にこれまで報告者が調査した限りでは、難民出身の受講者がこのコースに多く存在していること、最後に統計上でも特別コースの非識字者向けコースと青少年向けコースの受講者は増大しているからである。すなわち、既知のようにドイツには現在多くの難民がおしよせているが、その難民が増加するとともに、特別コースの需要が増え、このコースの重要性が増す可能性がある。それは最初のコンセプトの変化から読み取ろうとしている「シティズンシップ」にも影響する。なぜならその関門である統合コースが難民を受け入れるにあたって変質するかもしれないからである。

以上の背景により、本発表では、統合コースのこれまでの経緯と特別コースも含めた統合コースの全体像とを俯瞰することで、今後の統合コースの方向性を予想する。そこから、ドイツの「シティズンシップ」がいかに変容するか、「統合」がどのように進められるかをより正確に読み取れるはずである。それは、難民が増大するドイツの未来を予想することになるだろう。

### 3. 研究の方法

本発表では統合コースの全体像を俯瞰するために3つの方向から分析を加える。ひとつは特別コースと「一般コース」との共通点と差異の明確化である。いうなれば、王道である「一般コース」と特別コースの対象者やカリキュラムの違いについて述べることでドイツが統合コースの対象をどこまで広げているかを示す。次に、各コースの過去のコンセプトとの比較である。つまり、いままで3回改訂されている統合コースのコンセプトの変化を分析する。そこからドイツがおかれた社会背景の影響が垣間見られるはずである。そして3つ目は、上記2つの分析に報告者のこれまでの調査からの知見を交える。それらを総合して、統合コースの今後のなりゆきについて展望を試みる。

本発表で具体例として扱う特別コースは、デュッセルドルフで展開されている「非識字者向けコース」(Alphabetisierungskurs)、および「女性コース」(Frauenintegrationskurs)である。これらのコースは「一般コース」の600時間より長い900時間の語学学習が設定されて、2007年より実施されている。報告者は2012年よりおよそ1年に1回、デュッセルドルフで行われている両コースの参与観察を続けている。今回の発表では、そこで見聞した内容についても適宜とりあげる予定である。

加えて、統合コースは講師の登用や、助成時間の増大など運営面でも大きな課題を抱えつつある。現在増加する難民が、統合コースを受講すれば、講師が不足するのは明らかであり、ドイツの国庫についても大きな負担となる。その懸念が、国内で右翼が台頭する要因のひとつととらえられなくもない。このような統合コース以外の実際の社会におきつつあるドイツの課題についても、知見の及ぶ限り触れる予定である。

#### 【主な参考文献】

佐野敦子 (2014) 「ドイツの成人教育からみる『統合』と国民アイデンティティの形成」

立教大学 博士学位論文 <http://doi.org/10.14992/00010608>

松岡洋子(2008)「ドイツの改定統合コースについて」『移住者と受入住民の多文化的統合を視座とした共通言語教育』

日本学術振興会平成16年度－19年度科学研究費補助金 基盤研究(B)(1)研究成果報告書

[http://www.flae.h.kyoto-u.ac.jp/~nishiyama/IwateKaken2008/38\\_The%20new%20Ordinance%20on%20Integration%20Course1.pdf](http://www.flae.h.kyoto-u.ac.jp/~nishiyama/IwateKaken2008/38_The%20new%20Ordinance%20on%20Integration%20Course1.pdf)

丸尾 眞 (2007) 「ドイツ移民法における統合コースの現状及び課題」内閣府経済社会総合研究所

[http://www.esri.go.jp/jp/archive/e\\_dis/e\\_dis189/e\\_dis189.html](http://www.esri.go.jp/jp/archive/e_dis/e_dis189/e_dis189.html)

■連邦移民局(BAMF-Bundesamt für Migration und Flüchtlinge-, Nürnberg)の資料

—統合コース全体コンセプト 2015, Konzept für Bundesweiten Integrationskurs

—非識字者向けコースのコンセプト

2007 *Vorläufiges Konzept für einen bundesweiten Integrationskurs mit Alphabetisierung*

2009 *Konzept für einen bundesweiten Alphabetisierungskurs überarbeitete Fassung für 945UE*

2015 *Konzept für einen bundesweiten Alphabetisierungskurs überarbeitete Neuauflage Mai 2015*

—女性・保護者向けコースのコンセプト

2007 *Vorläufiges Konzept für einen bundesweiten Frauen- bzw. Elternintegrationskurs*

2009 *Konzept für einen bundesweiten Frauen- bzw. Elternintegrationskurs überarbeitete Fassung für 945UE*

2015 *Konzept für einen bundesweiten Frauen- bzw. Elternintegrationskurs überarbeitete Neuauflage April 2015*

—若年者向けコースのコンセプト

2007 *Vorläufiges Konzept für einen bundesweiten Jugendintegrationskurs*

2009 *Konzept für einen bundesweiten Jugendintegrationskurs überarbeitete Fassung für 945UE*

2015 *Konzept für einen bundesweiten Jugendintegrationskurs überarbeitete Neuauflage April 2015*

—統計 2015 *Das Bundesamt in Zahlen 2014* (連邦移民難民局 2014年統計)

※統計は翌年の6月-7月ごろに例年発表されるため、最新の難民流入数等は連邦政府の速報を使用予定。